



おおぞらだより



第9号
 平成24年 5月 31日発行
 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
 おおぞらのいえ
 〒651-2181
 神戸市西区曙町1070
 TEL (078) 927-2727 (代)
 FAX (078) 925-9253



児童発達支援事業所の子ども達の作品です☆



いあいせい

障害児入所施設 おおぞらのいえ
所長 岩田 宏之

新緑の若葉が繁れる季節を迎えました。おおぞらのいえも平成20年に開設され、県の指定管理の下、運営を開始して5年目を迎えました。

さて、4月の制度改正に伴い、本体施設は福祉型障害児入所施設へ移行し、18歳以上の利用児の速やかな地域移行の促進に取り組んでいます。また、児童デイサービスは児童発達支援事業へ移行し、就学・就園に向けたサービスの充実に取り組んでいます。

施設の現状ですが、施設本体では16名の子供達が生活しています。短期入所は30名の方と契約を交わしています。週末を中心に多くの方にご利用頂いています。また、児童発達支援事業所では、26名の方と契約を交わし利用頂いています。この様に、4年間の取り組み実績を通して、地域からのニーズも拡大し利用児が増加しています。

利用児の様子ですが、今年度は高等部3年生が2名おられます。1年後の地域生活を目指して保護者・学校・関係機関と力をつなぐ等々を行ってスムーズな移行を目指しています。また、今年の4月から地域の小学校に入学された方が1名おられ、毎日の登下校の付き添い支援を行うなど、児童施設の運営は、その時々の利用児の状況に応じて慌ただしく動いています。児童発達支援事業では、児童福祉法の改正に伴いサービス提供時間の変更を行いました。しかし、一般就園・就学につなげていく役割を担っていく事業所としての原点は変わりません。この3月には12名の方々が就学・就園につながり新たな生活を開始されました。また、新たに4月から10名の方が利用を開始されています。

制度改正は障害児支援の強化を図るものです。障害児施設の一元化等の課題もありますが、私たちの支援の根本は変わりません。ご本人達が主体性を持って、充実した生活と時間を過ごせるよう「ひとりひとりが輝き」その人にあった心地よさを創ることを大切に支援に努めていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

『外出活動について』

おそろいのいえでは、年に数回程度個別に外出する機会を設けています。昨年度はUSJや甲子園への野球観戦、イオンへのショッピング、マリニピア等子ども達の希望する所へ行きました。

熊原 知子



「遊園地に行きたい!」と言った子どもはUSJに行きました。初めての遠出だったので外出活動の日が近づいて来ると緊張している様子でした。外出活動当日はあいにくの雨でしたが、そんな事は気にもせず4Dを見たり、アトラクションに乗ったりと、楽しんでいました。お昼ご飯は自分で食べたいお店を選び、注文も自分で行いました。遊んだ後のご飯は格別美味しく、にこにこ笑顔で食べていました。

高学年の女の子は、マリニピアに行きショッピングを楽しみました。マリニピアでは、カバンやアクセサリーを見て「これかわいい!」と言っていました。予算内で買える物を選択し、本人が気に入った物を購入していました。



みんな外出活動から帰って来ると「こんな事があったよ。」と他児に土産話をしていました。今年度も様々な場所に行けるよう計画を進めています。



『はじめの第一歩』

中尾 有里佳

平成20年5月におおぞらのいえ児童デイサービスとして開設し、はや4年が過ぎました。4月からは児童発達支援事業所に名称を変更し、新たな1年がスタートしています。

4月20日には入所式があり、新しいお友達が増えました。当事業所は母子分離で未就学児が対象です。今までずっと一緒に過ごしてきたお母さんに「いつてきます。」を言って離れることは、児童にとっては、とても大きな一歩です。最初は不安でいっぱい泣いて、何度も「ママ。」とお母さんを呼びました。大好きなおやつも喉を通りませんでした。しかし、昨年度から利用しているお友達にリードしてもらい、一緒に歌ったり、遊んだりすることで、少しずつ不安がなくなり、楽しみも大きくなりました。今では「おはよう。」と元気に来所し、お母さんに「いつてきます。」と手を振ることが出来ます。寂しくてちょっぴり涙を流しても、お友達に誘われて、いつの間にか笑顔で遊んでいます。一人ひとりのペースで、一歩一歩進んでいく姿はとてもたくましく、大きく感じます。これからも小さな体の中に秘められた、大きな可能性を大切にしながら、個々の成長をサポートしていきたいと思っています。



『お楽しみメニュー』

松本 優紀

おおぞらのいえの給食は、毎月1回、子どもたちのリクエストによる『お楽しみメニュー』が提供されます。子どもたちの思い思いのリクエストに栄養士さんや調理員さんたちが目一杯応えてくれ、いつも子どもたちは大喜びです。3月は『ハンバーガー』を自分たちで手作り。「レタス、パテ、チーズにトマト。」と自分の好きな順番でパンズに具をのせていました。4月は『ステーキ』に『焼きそば』、デザートに『いちごとメロン』と盛りだくさん。ステーキは目の前で焼いてもらいました。自分たちがリクエストしたメニューの味は格別!!みんなあつという間にペロリと平らげてしまいます。さて来月はどんなメニューをリクエストしようかな…。



「春の遠足」

松本 優紀



今年春の遠足として『淡路島国営明石海峡公園』へ行ってきました。道中では明石海峡大橋を初体験♪みんな「うわぁー。すごい。」と熱心に窓から外を眺めていました。公園に到着すると、まずは芝生広場でお弁当を頬張り、その後はアスレチックへGO！ローラー滑り台やトンネル滑り台、色んな滑り台で小学生メソバーは大はしゃぎ。子どもたちのパワーに職員はへとへとに……。中学生のお兄さんは広い公園内をぐるりと散歩を楽しんでいました。帰り道では、ハイウェイオアシスに立ち寄り、3時のおやつにソフトクリームを買って食べました。段々おそろいのいえが近付いてくると「楽しかったなあ。」「もうちょっと居れたらよかったのに。」と名残惜しそうにしました。来年の遠足も楽しみにしていますね♪



スタッフしようかい

新年度を迎え、新たなメンバーが加わりましたので、紹介いたします。

看護師



初めまして。看護師の森田と申します。おおぞらのいえの児童と共に、私も成長していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

森田 由記

児童発達支援事業所



様々なあそびや活動を通して、私自身いろいろなことを学び、楽しみたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

潮田 美紀

また、おおぞらのいえ内の異動として、
中村 由美子が 2階支援員
中尾 有里佳が 児童発達支援事業所へ異動となりました。
気分新たに、職員一同、力を合わせて頑張ります。



編集後記

新年度が始まって2ヶ月。ちょっぴり緊張していた子ども達も、少しずつ肩の力が抜け、新しい環境にも慣れてきたようです。子どもたちはいつも元気いっぱい。成長もめまぐるしく、職員が置いていかれそうです。これから子ども達と一緒に、職員も成長していけるよう、より良い支援を目指して努力していきます。